

調査報告書

[2018年版 感光体マーケット総覧]

『固定部品化が進む 感光体市場の展望』

=20φ～260φまでの全ての製品を総合調査=



＜中国・東莞市に完全自動化の感光体第2工場を増設する
京セラドキュメントソリューションズ＞



＜キャノンは20φなど小径製品の需要が増加
上記は青森のキャノンプレジジョン北和徳事業所＞



＜コニカミノルタは堅調な出荷を継続
上記は山梨県のコニカミノルタサプライズ＞

2018年2月



日・中・米・欧の市場調査
株式会社 データ・サプライ

〈調査概要〉

I. 調査テーマ

【2018年版 感光体マーケット総覧】
 『固定部品化が進む感光体市場の展望』
 =20φ～260φまでの全ての製品を総合調査=

II. 調査主旨

事務機器業界は、M&A が進行し、ハードメーカー間の競争はますます烈しさを増している。大手ハードメーカーといえども台数の増加至上主義は多忙なビジネスを作るだけで、利益なき経営に陥ってしまう。

特に電子写真ビジネスの根幹を担っていたオフィス需要は、減少する方向に進みつつあるだけに、心臓部品である「感光体」も交換回数を増やすよりは、耐久性を上げてサービスマンの訪問回数を減らした方がトータルとしての利益に貢献する。そのため、感光体の開発の考え方も出来るだけ同じ材料を使ってよりコストを下げる事が最も重要なポイントとみなされている。こうした動きに連動し、感光体業界の再編が動く可能性は否定出来ない。

ちなみに、キヤノンの「ドングルギア」の特許訴訟がドイツで敗訴するなど、サードパーティ製品は、より力をつけて純正品市場を圧迫し続けている。

技術的な面では、耐久性を上げるために OCL（保護層）をつける動きが活発な一方で、OCL 無しで耐久性を上げる工夫もなされている。耐久性で最も高いのは京セラに代表される a-Si 感光体だが、これまでの正帯電の製品から負帯電の製品の上市が期待されるなど新しい動きもある。

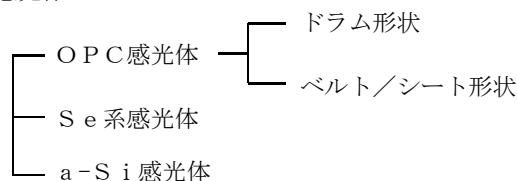
こうした状況を踏まえつつ、感光体の素管（素管メーカー、アルミ加工メーカー）、塗布材料（UCL、CTL、CGL、OCL）の現状と供給関係、コスト等を調査するとともに感光体メーカーの生産増減、供給関係、利益動向などをワールドワイドに調査・分析するものである。

2018年版は28回目の刊行に当たる。特に日本メーカーについてはここ「20年間の感光体生産量の推移」を振り返るなど長いスパンでの動向も合わせて分析することで、本レポートが関係各位の業務の一助となれば幸いである。

III. 調査対象品目及び調査対象先

1. 調査対象品目

1) 感光体



2) 感光体アルミ素管 3) 塗布材料

2. 調査対象先

- 1) 感光体メーカー（国内 10 社、海外 27 社）
- 2) 感光体素管メーカー（国内 5 社、海外 5 社）
- 3) 素管加工メーカー（国内 8 社、海外 4 社）
- 4) 感光体塗布材料メーカー（CTL/CGL/UCL/OCL）（国内 11 社、海外 2 社）
- 5) ハードメーカー（複写機メーカー9社、プリンタメーカー11社、FAXメーカー4社）

IV. 調査範囲及び調査方法

1. 調査範囲

調査対象範囲は、2015年～2021年とする。また、対象範囲は日本、北米、欧州、韓国、台湾、中国、その他地域とする。

2. 調査方法

- 1) 取材対象メーカーへの直接訪問面接調査 2) 公開されている文献、資料、統計等の分析及び調査
- 3) 弊社に蓄積されているデータの活用

V. 調査形態、調査期間、他

1. 調査形態：本調査はマルチクライアント方式による調査である。
2. 調査期間：2018年1月～2月
3. 調査報告刊行日：2018年2月23日
4. 提出報告書：A4判ワープロ製本
5. 1社当りの参加費用：日本文版 …… **¥500,000-**（消費税は別途）（英文版 …… **\$5,200-**）
6. 調査担当

山本 幸男／吉田 晃介／磯 博文

（TEL：03-3831-9201、FAX：03-3831-9204、E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、iso@datasupply.jp） ホームページ：http://www.datasupply.jp/

《目次》

[調査結果の要旨]
A. 分析編

I. 全世界での感光体生産量（2015年～2021年）	1
1. 全体概要	1
2. 種類別生産概要	2
3. 全世界の種類別用途別生産量	3
4. 出荷用途別（ハード本体出荷用/サプライ用）感光体生産量（2015年～2021年）	5
1) 全体/2) サードパーティ比率（2016年～2018年）	
5. 世界のベスト10（生産量シェア）（2016年～2018年）	7
1) 全体/2) OEM向け生産量シェア/3) サードパーティ向け生産量シェア	
6. 全世界の生産量	10
1) 地域別種類別生産量/2) 地域別用途別生産量/3) メーカー別生産量/4) 地域別メーカー別生産量	
5) 地域別種類別生産量：日本/北米/欧州/中国/韓国/台湾/その他地域	
6) 地域別用途別生産量：日本/北米/欧州/中国/韓国/台湾/その他地域	
7. OEMとサードパーティの生産量	28
7-1. ワールドワイド（2017年）	28
7-2. メーカー別OEM量とサードパーティ量（2016年～2018年）	29
1) 全世界/2) 日本メーカー/3) 北米メーカー/4) 欧州メーカー/5) 中国メーカー/	
6) 韓国メーカー/7) 台湾メーカー/8) その他メーカー	
8. 感光体用素管の生産動向	35
9. 日本メーカー各社の塗布材料使用状況	36
II. 感光体の生産拠点	37
1. 日本メーカーの地域別生産拠点	37
1) 全体/2) 工場・住所一覧	
2. 海外メーカーの生産拠点一覧	40

B. 感光体市場編

B-1. 日本メーカーの動向（2015年～2021年）	43
B-1-1. 日本メーカーの集計	43
1. 日本メーカーの種類別用途別生産量	43
1) 全世界での生産量/2) 国内生産分/3) 海外生産分	
4) 20年間の生産量推移	49
2. 種類別地域別メーカー別用途別生産量（2015年～2021年）	51
1) 全種類/2) OPC/3) Se系/4) a-Si	
3. 直径別用途別種類別生産量（2017年）	59
4. 直径別メーカー別生産量及び出荷金額（2017年）	60
1) 全体数量（PPC用OPC/PPC用a-Si/プリンタ用OPC/ プリンタ用Se系/プリンタ用a-Si/FAX用OPC）	60
2) 金額	67
5. メーカー別直径別生産数量及び出荷金額構成比（2017年）	68
6. 直径別メーカー別生産数量及び出荷金額の状況（2017年）	72
1) 20φ/2) 24φ/3) 30φ/4) 40φ/5) 47φ/6) 50φ/7) 60φ/8) 65φ/ 9) 80φ/10) 84φ/11) 100φ/12) 108φ/13) 120φ/14) 168φ/15) 210φ/ 16) 240φ/17) 260φ	
7. 長さ別メーカー別生産量（2017年）	89
1) 生産量/2) 出荷金額	
8. 直径別長さ別生産数量及び出荷金額（2017年）	91
1) 生産量/2) 出荷金額/3) 長さ別直径別数量及び金額構成比（A4～A0）	
9. 日本メーカーの感光体の用途別種類別地域別生産状況（2016年～2018年）	98
10. ロングライフ感光体（A3）の開発動向	99
11. 負帯電/正帯電別生産量（2017年）	99
12. ハードメーカーと感光体メーカーの主要供給関係（2017年）	100
1) 納入状況/2) PPCメーカーと感光体メーカーの主要供給関係	
3) レーザー/LEDプリンタメーカーと感光体メーカーの主要供給関係	
4) レーザー/LED FAXメーカーと感光体メーカーの主要供給関係	

B-1-2. 日本の感光体メーカー個票	105
---------------------	-----

■共通調査項目■

- ・地域別拠点別種類別用途別生産量（国内・海外）の現状と今後（2015年～2021年） ・20年間の感光体生産量推移
- ・生産拠点の動向（設備投資、ラインの増減と今後の拠点） ・直径別用途別生産量 ・直径別長さ別生産量と出荷金額、単価（2017年実績） ・正帯電/負帯電別生産量 ・長尺感光体の状況 ・塗布層と塗布材料（UCL、CGL、CTL、OCL）の開発及び購入状況 ・ロングライフ感光体の開発動向 ・小径化/大径化の状況 ・製造ライン
- ・塗布方法 ・純正メーカーのサードパーティ製感光体への対応策・純正品（OEM）とサードパーティ製品の生産比率
- ・供給先別納入量の変化一覧 ・ワールドワイドの生産拠点一覧

キヤノン / リコー / 山梨電子工業 / 富士ゼロックス / コニカミノルタ / 京セラグループ（京セラ/京セラドキュメントソリューションズ） / 三菱ケミカル / 富士電機 / シャープ

B-2. 海外メーカーの動向（2015年～2021年）	210
B-2-1. 海外メーカーの集計	210
1. 海外メーカーの種類別用途別生産量	210
B-2-2. 海外メーカーの感光体メーカー個票	212

AlphaChem（韓国）/ APS Photoconductor（中国）/ CEMS（韓国）/ Eastman Kodak（米国）/ GreenRich Technology（台湾）/ Guangzhou A&G Optoelectronics Technology（中国）/ Hanp（Baiksan OPC）（韓国）/ HG Technologies（中国）/ Huaian Gantech Opto-Electronics（中国）/ Lexmark International（米国）/ Océ Technologies（オランダ）/ PARK & OPC（韓国）/ Sindoh（韓国）/ Suzhou Goldengreen Technologies（中国）/ Xerox Corporation（米国）/ その他メーカー（中国7社、韓国1社、香港1社、インド1社）

C. 感光体素管市場編

I. 全体動向	245
1. 感光体業界（素管、伸管、加工、塗布）のエントリー概要	245
1) 工程別参入動向	245
2) アルミ素管メーカーと加工メーカーの主要取引関係	246
3) アルミ素管メーカーから塗布メーカー（感光体メーカー）への供給関係（全体概要/アルミ素管メーカーと感光体メーカーの主要動向図）	247
2. 全世界での感光体素管生産量（2015年～2021年）	250
3. 日本の感光体素管メーカー別生産量推移（2015年～2021年）	251
4. 素管メーカー別直径別長さ別生産量	252
5. 感光体メーカーへの供給量（2017年）	253
1) 全体/2) OPC/3) Se, a-Si	

II. 感光体素管メーカーの個別動向	256
--------------------	-----

■共通調査項目■

- ・直径別/用途別/長さ別生産量 ・無切削/切削管の生産量 ・感光体メーカーの生産拠点別納入量一覧（全世界）
- ・カラー用感光体への対応策（振れ、真円度、表面粗度、均質性） ・加工/伸管メーカーとの関係 ・生産技術動向（切削管、無切削管）、その他 ・価格動向 ・生産拠点

昭和電工 / UACJ 押出加工 / 神戸製鋼所 / 日軽金アクト

D. 塗布材料市場編

1. 全体概要	273
2. CTL	274
2-1. バインダー樹脂：1) 全世界の市場（2015年～2019年）（全体概要/参入メーカー/材料別特徴/価格）/2) バインダー樹脂の主要供給関係（国内）	
2-2. CTM：1) 全世界の市場（2017年）/2) メーカーシェア（内製メーカーの出荷量/CTMメーカーの出荷量）/3) CTMの種類/4) CTMの主要供給関係	
3. CGL	279
3-1. バインダー樹脂/3-2. CGM	
4. UCL	279
5. OCL	280

E. 感光体別直径別機種一覧（2014年～2018年）

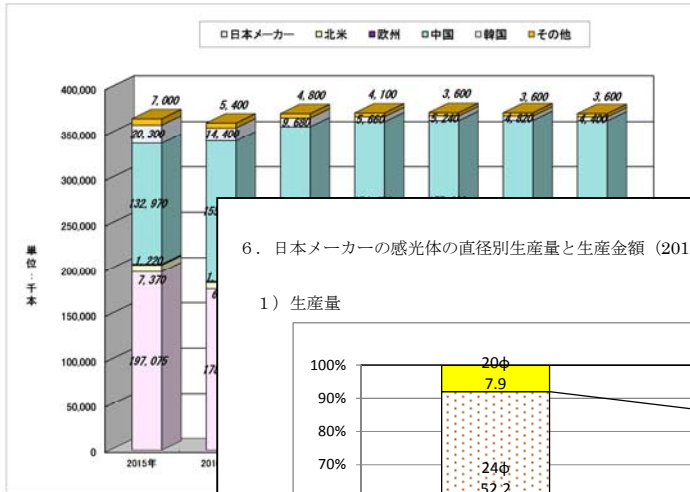
1. PPCの感光体別機種一覧	281
2. レーザー/LEDプリンタの感光体別機種一覧	288
3. レーザー/LEDFAの感光体別機種一覧	297
4. プロダクションプリンタの感光体別機種一覧	298

「調査結果の要旨」より抜粋

※実際のレポートには実数やコメントが入っています。

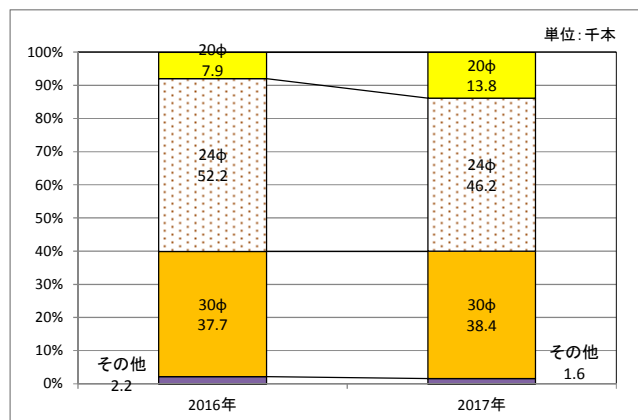
◇ 調査結果の要旨 ◇

1. 全世界の感光体生産量推移

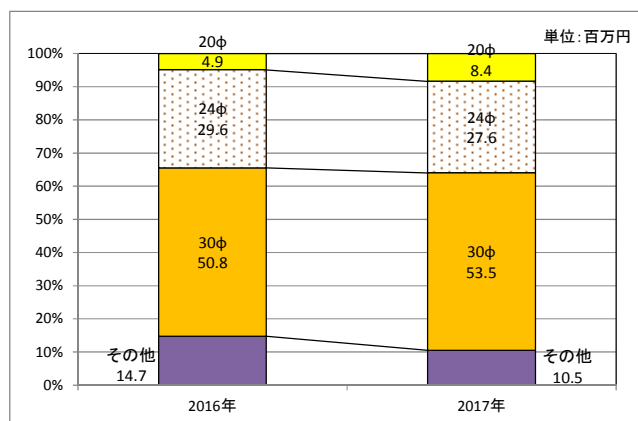


6. 日本メーカーの感光体の直径別生産量と生産金額 (2017年)

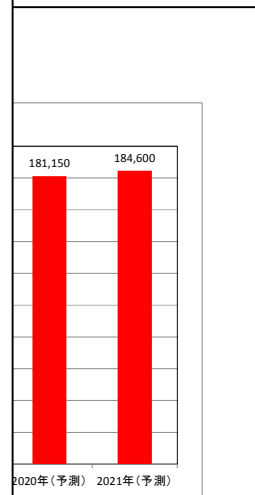
1) 生産量



2) 生産金額

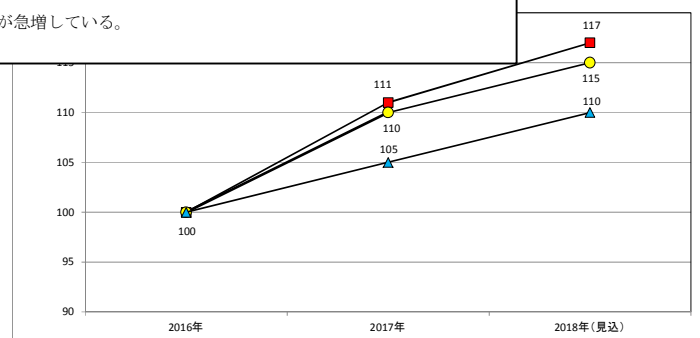


生産量、生産金額とも 20φ が急増している。



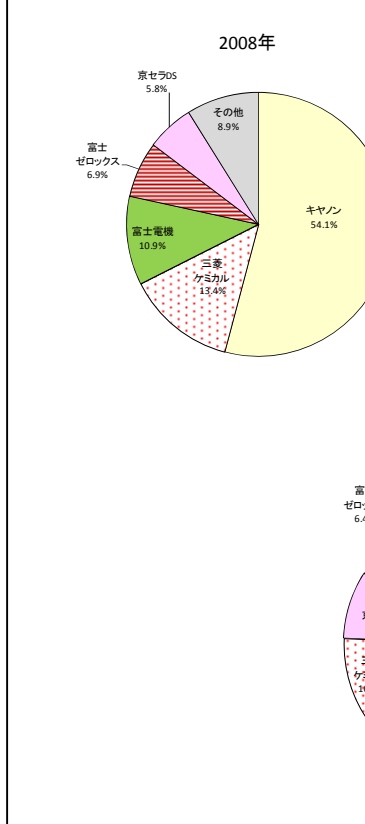
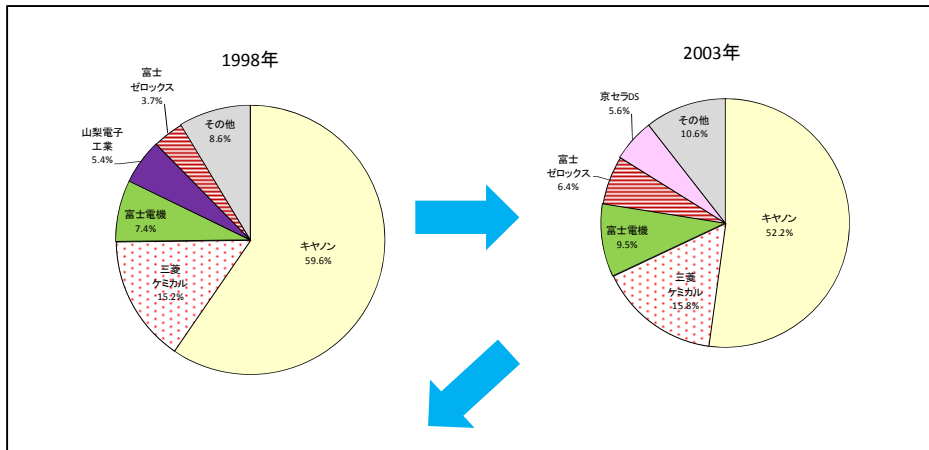
ている。成長分野に集中して
太を促進する事にもなってい

—HG Technologies



「感光体分析編」と「感光体市場編」より抜粋

※実際のレポートには実数やコメントが入っています。

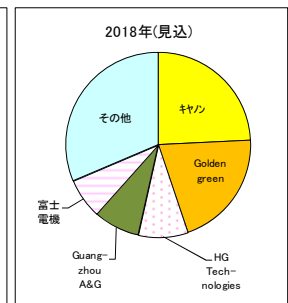
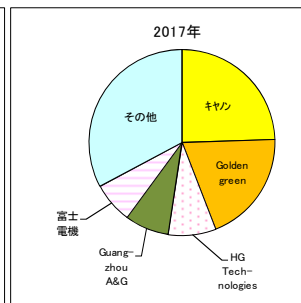
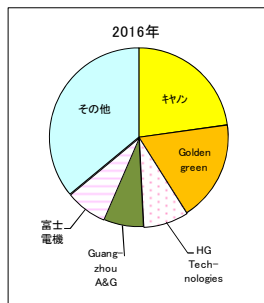


5. 世界のベスト10（生産量シェア）（2016年～2018年）

1) 全体

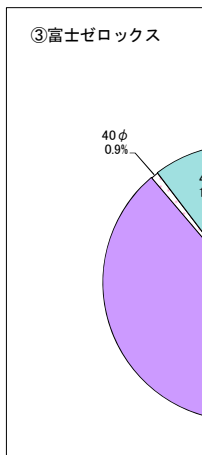
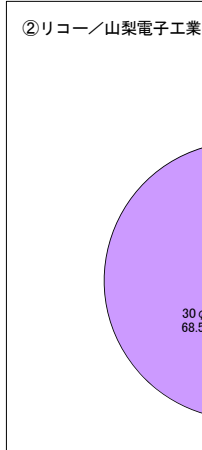
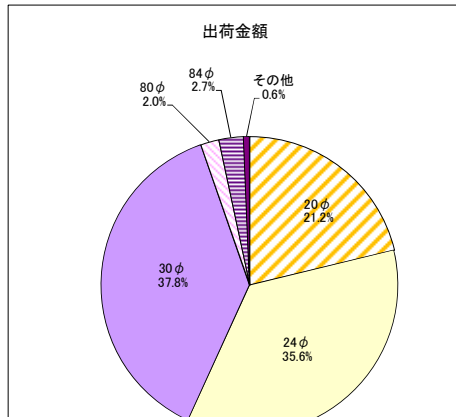
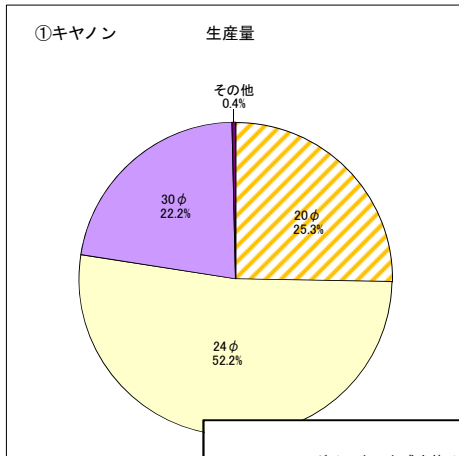
※順位は2017年実績

順位		2016年(%)	2017年(%)	2018年(見込)(%)
1	キヤノン			
2	Goldengreen (中国)			
3	HG Technologies (中国)			
4	Guangzhou A&G Optoelectronics Technology (中国)			
5	富士電機			
6	Huaian Gantech Opto-Electronics (中国)			
7	三菱ケミカル			
8	京セラグループ			
9	富士ゼロックス/Xerox (米国)			
10	リコー/山梨電子工業			
-	その他			
	合計			



「感光体市場編」より抜粋

※実際のレポートには実数やコメントが入っています。



1.2. ハードメーカーと感光体メーカーの主要供給関係（2017年）

1) 納入状況

(単位:千本)

供給先	感光体メーカー	キヤノン	リコー/山梨電子工業	富士ゼロックス	コニカミノルタ	京セラ	京セラドキュメントソリューションズ	三菱ケミカル	富士電機	シャープ	計	
												%
キヤノン												
リコー												
富士ゼロックス												
コニカミノルタ												
京セラドキュメントソリューションズ												
シャープ												
東芝テック												
パナソニック												
沖データ												
ブラザー工業												
村田機械												
桂川電機												
HP(S-Printing)												
リコープロダクションプリント												
Apex												
Avision												
サードパーティ												
計												
	%											

- 1).....
- 2).....
- 3).....
- 4).....
- 5).....
- 6).....
- 7).....
- 8).....

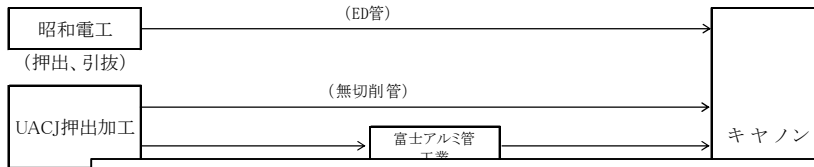
サンプルページ

「感光体素管市場編」より抜粋

※実際のレポートには実数やコメントが入っています。

3) アルミ素管メーカーから塗布メーカー(感光体メーカー)への供給関係

(1) アルミ素管メーカーと感光体メーカーの主要動向図(2018年2月現在)



4. 素管メーカー別直径別長さ別生産量

(単位:千本)

(φ)	メーカー	昭和電工	UACJ 押出加工	神戸 製鋼所	日軽金 アクト	三菱 アルミ	富士アルミ 管工業	計	
									%
A 4	20								
	24								
	30								
	40								
	47								
	60								
	計								
A 3	30								
	40								
	47								
	50								
	60								
	80								
	84								
	90								
	100								
	108								
	120								
180									
210									
計									
A 2 以上	240								
	260								
	計								
合計									

※富士アルミ管工
47φで40万本(

アルウナ

「感光体素管市場編」と「感光体別直径別機種一覧」より抜粋

※実際のレポートには実数やコメントが入っています。

5. 感光体メーカーへの供給量 (2017年)

1) 全体

(千本/年)

	昭和電工	UACJ 押出加工	神戸製鋼所	日軽金アクト	三菱アルミ	富士アルミ管工業	小計	アルナ	海外メーカーその他	合計
キヤノン										
キヤノンバージニア(米)										
キヤノンブルターニュ(仏)										
キヤノン(中国/大連)										
小計										
山梨電子工業本社										
山梨電子工業沼津										
山梨電子工業タイランド(タイ)										
リコーインダストリー東北										
リコー中国										
小計										

E. 感光体別直径別機種一覧

1. PPCの感光体別機種一覧 (2014年~2018年)

1) キヤノン

感光体	機種名	発売年	月	価格 (万円)	出力 (μA)	スレ-1 (cm) 許-1 (AA)	スレ-2 (cm) 許-2 (AA)	出力 解像度 (dpi)	トナ-製法	トナ-成分	感光体 直径 (mm-φ)	感光体 影射 (千枚)	感光体 特性	寸法 WxDxH (mm)	重量 (g)	備考
OPCR	imageRUNNER ADVANCE 4545/4545F	2014	02	165,000/175,000	A3	-	45	1,200 × 1,200	粉砕	1	30	172	⊕	565 × 708 × 902	約78.0	2012年6月発売の「同4000シリーズ」の後継機。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE 4525/4525F	2014	02	145,000/155,000	A3	-	35	1,200 × 1,200	粉砕	1	30	139	⊕	565 × 708 × 902	約78.0	2012年6月発売の「同4000シリーズ」の後継機。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE 4525/4525F	2014	02	120,000/130,000	A3	-	25	1,200 × 1,200	粉砕	1	30	138	⊕	565 × 708 × 902	約78.0	2012年6月発売の「同4000シリーズ」の後継機。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE CS50F	2014	09	62.50	A4	35	35	800相当 × 600	粉砕	2	30	60	⊕	511 × 621 × 610	約46.0	A3MFPと同様の高性能な511仕様を実現したA45-MFP。新しい色設計の採用により、印刷時の色域を大幅に向上。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE CS330	2015	05	165,000/130,000	A3	30	30	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	2	30	86.56 YMC51	⊕	565 × 693 × 678 365 × 465 × 377	約75.6/約66.1	2012年11月発売の「同 C2300シリーズ」の後継機。C2300シリーズには「射なし」として「射なし」機能を搭載。世界に先駆け中国で2015年4月より発売を開始。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE CS320F	2015	05	135,000	A3	20	20	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	2	30	86.56 YMC51	⊕	565 × 693 × 678	約75.6	2012年11月発売の「同 C2300シリーズ」の後継機。C2300シリーズには「射なし」として「射なし」機能を搭載。世界に先駆け中国で2015年4月より発売を開始。
a-Si	imageRUNNER ADVANCE 8505	2016	02	500,000	A3/A4	-	106	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	1	80	6000	⊕	670 × 779 × 1,200	約236.0	2012年11月発売の「同8200 PRO/6200シリーズ」の後継機。
a-Si	imageRUNNER ADVANCE 8505	2016	02	420,000	A3/A4	-	95	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	1	80	6000	⊕	670 × 779 × 1,200	約236.0	2012年11月発売の「同8200 PRO/6200シリーズ」の後継機。
a-Si	imageRUNNER ADVANCE 8505	2016	02	340,000	A3/A4	-	85	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	1	80	6000	⊕	670 × 779 × 1,200	約236.0	2012年11月発売の「同8200 PRO/6200シリーズ」の後継機。
a-Si	imageRUNNER ADVANCE 8575	2016	02	310,000	A3/A4	-	75	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	1	80	6000	⊕	670 × 779 × 1,200	約234.0	2012年11月発売の「同8200 PRO/6200シリーズ」の後継機。
a-Si	imageRUNNER ADVANCE 8585	2016	02	280,000	A3/A4	-	65	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	1	80	6000	⊕	670 × 779 × 1,200	約234.0	2012年11月発売の「同8200 PRO/6200シリーズ」の後継機。
a-Si	imageRUNNER ADVANCE 8555	2016	02	250,000	A3/A4	-	55	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	1	80	6000	⊕	670 × 779 × 1,200	約234.0	2012年11月発売の「同8200 PRO/6200シリーズ」の後継機。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE CS560/CS560F	2016	06	260,000/270,000	A3/A4	60	60	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	2	30	86.171 YMC50	⊕	620 × 742 × 950	約143.0	2012年発売の「同C5200シリーズ」(170~270万円、A3~51ppm)の後継機。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE CS550/CS550F	2016	06	240,000/250,000	A3/A4	50	50	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	2	30	86.171 YMC50	⊕	620 × 742 × 950	約143.0	2012年発売の「同C5200シリーズ」(170~270万円、A3~51ppm)の後継機。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE CS540/CS540F	2016	06	200,000/210,000	A3/A4	40	40	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	2	30	86.171 YMC50	⊕	620 × 742 × 950	約143.0	2012年発売の「同C5200シリーズ」(170~270万円、A3~51ppm)の後継機。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE CS535/CS535F	2016	06	190,000/190,000	A3/A4	35	35	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	2	30	86.171 YMC50	⊕	620 × 742 × 950	約143.0	2012年発売の「同C5200シリーズ」(170~270万円、A3~51ppm)の後継機。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE C7580	2016	11	380,000	A3/A4	70	80	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	2	84	YMC30 YMC164	⊕	689 × 941 × 1,200	約272.0	2012年11月発売の「同 C7200シリーズ」の後継機。オス向けMFPの最上位機種の位置付け。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE C7570	2016	11	330,000	A3/A4	65	70	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	2	84	YMC30 YMC164	⊕	689 × 941 × 1,200	約272.0	2012年11月発売の「同 C7200シリーズ」の後継機。オス向けMFPの最上位機種の位置付け。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE C7565	2016	11	300,000	A3/A4	60	65	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	2	84	YMC30 YMC164	⊕	689 × 941 × 1,200	約272.0	2012年11月発売の「同 C7200シリーズ」の後継機。オス向けMFPの最上位機種の位置付け。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE CS35F	2016	11	87.50	A4	35	35	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	2	30	60	⊕	511 × 651 × 629	約50.0	2014年9月発売の「R-ADV CS30F」(62.5万円、A4~51ppm)の後継機。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE 4545/4545F	2016	11	175,000/165,000	A3	-	45	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	1	30	172	⊕	587 × 740 × 945	約86.6/約87.1	2014年2月発売の「同4200シリーズ」の後継機。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE 4535/4535F	2016	11	155,000/165,000	A3	-	35	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	1	30	139	⊕	587 × 740 × 945	約86.6/約87.1	2014年2月発売の「同4200シリーズ」の後継機。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE 4525/4525F	2016	11	120,000/130,000	A3	-	25	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	1	30	138	⊕	587 × 750 × 926	約81.3/約81.8	2014年2月発売の「同4200シリーズ」の後継機。
a-Si	imageRUNNER ADVANCE 9560	2016	11	250,000	A3/A4	-	60	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	1	80	6000	⊕	670 × 779 × 1,200	約234.0	2016年2月発売のA3/E/MFP「同5000シリーズ」の強化版となるもの。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE CS350F/CS350	2017	03	165,000/135,000	A3	30	30	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	2	30	86.986 YMC51K	⊕	565 × 736 × 880	約77.0/約68.0	2015年5月発売の「同 CS3000シリーズ」(130~165万円)の後継機。
OPCR	imageRUNNER ADVANCE CS320F	2017	03	135,000	A3	20	20	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	2	30	86.986 YMC51K	⊕	565 × 736 × 880	約77.0	2015年5月発売の「同 CS3000シリーズ」(130~165万円)の後継機。
OPCR	imageRUNNER IR W1040/W1040F	2018	02	198,000/234,000/275,000	A2	-	40	800 × 600 800 × 600 800 × 600	粉砕	1	100	200	⊕	780 × 854 × 1,080/780 × 854 × 1,040/780 × 854 × 1,242	198.0/218.0/221.0	1)からのOEM。2013年2月発売の「R WS40」(176万円~)/EJ3040ppm(A3)の後継機。

2) リコー

感光体	機種名	発売年	月	価格 (万円)	出力 (μA)	スレ-1 (cm) 許-1 (AA)	スレ-2 (cm) 許-2 (AA)	出力 解像度 (dpi)	トナ-製法	トナ-成分	感光体 直径 (mm-φ)	感光体 影射 (千枚)	感光体 特性	寸法 WxDxH (mm)	重量 (g)	備考
OPCR	RICOH MP 6054/6054 SP/6054 SPF	2014	10	189.0/213.0/228.0	A3	-	60	800 × 600	粉砕	2	30	150	⊕	587 × 692 × 963	72.0以下/72.0以下/74.0以下	2012年発売の「image MP 5002」(131万円~、50cpi)の後継機。
OPCR	RICOH MP 5054/5054 SP/5054 SPF/5054 SPF	2014	10	131.0/155.0/181.0/196.0	A3	-	50	800 × 600	粉砕	2	30	150	⊕	587 × 661 × 783/587 × 662 × 819	60.0以下/71.0以下	2012年発売の「image MP 5002」(131万円~、50cpi)の後継機。
OPCR	RICOH MP 4054/4054 SP/4054 F/4054 SPF	2014	10	102.0/136.0/156.0/162.0	A3	-	40	800 × 600	粉砕	2	30	150	⊕	587 × 662 × 783/587 × 662 × 819	60.0以下/71.0以下	2012年発売の「image MP 4002」(102万円~、40cpi)の後継機。
OPCR	RICOH MP 3554/3554 F/3554 SP/3554 SPF/3554 SPF	2014	12	82.0/112.0/132.0/152.0/162.0	A3	-	35	800 × 600	粉砕	2	30	60	⊕	356 × 354 SP/587 × 662 × 783/587 × 662 × 819	35.4/35.4 SP/58.7以下/69.0以下	2013年8月発売の「同 MP 3353シリーズ」(78万円~、33cpi)の後継機となるA3/E/MFP。定着剤をD-0-1固定方式から独自D0固定方式に変更し、環境性能を高めた。

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03(3831)9201、FAX：03(3831)9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、iso@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み 2018年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

	日本語版		英語版		部数		金額
	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日			
《定期刊行物》							
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート（1986年～） 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 月会費：¥60,000	毎月 20日	\$7,000 \$600	毎月末	日 英	年 月号より ヶ月/年	
《2018年刊行物》							
* 2018年版[感光体マーケット総覧] 『固定部品化が進む感光体市場の展望』	¥500,000	2/23	\$5,200	4/5 予定	日 英		
《新レポート》 * 2018年版[オフィスユーザー調査] 『米国オフィスにおけるA3インクジェットMFPの影響評価』	¥1,500,000	3/22 予定	\$15,000	5/30 予定	日 英		
* 2018年版[インクジェット印刷マーケット総覧] 『産業印刷分野への本格導入が進むインクジェット ビジネスの最新動向』	¥500,000	3/29 予定	\$5,000	6/30 予定	日 英		
* 2018年版[ローラー系部品マーケット総覧]	¥400,000	6/27 予定	\$4,000	8/22 予定	日 英		
* 2018年版[トナーマーケット総覧]	¥600,000	8/28 予定	\$6,000	10/20 予定	日 英		
* 2018年版[MFPマーケット総覧] 総合分析編・PPC市場編/ プリンタ・プロダクションプリンタ・FAX市場編	¥600,000 (フルレポート) ¥350,000/ ¥350,000	12/12 予定	\$6,000 \$3,500/ \$3,500	2019 3/末 予定	日 英 日 英		
《2017年刊行物》							
* 2017年版[感光体マーケット総覧] 『電子写真の心臓部品・感光体の市場変貌』	¥500,000	2/23	\$5,200	4/5	日 英		
《新レポート》 * 2017年版[インクジェット印刷マーケット総覧] 『産業用インクジェット印刷市場の詳細分析』	¥500,000	3/29	\$5,000	6/1	日 英		
* 2017年版[ローラー系部品マーケット総覧] 『部品のユニット化が動き出すローラー系部品業界』	¥400,000	6/27	\$4,000	8/22	日 英		
* 2017年版[トナーマーケット総覧] 『コスト競争力が市場を立て直すトナー業界の未来図』	¥600,000	8/28	\$6,000	10/20	日 英		
* 2017年版[MFPマーケット総覧] 『選択と集中が加速する事務機業界の将来図』 総合分析編・PPC市場編/ プリンタ・プロダクションプリンタ・FAX市場編	¥600,000 (フルレポート) ¥350,000/ ¥350,000	12/12	\$6,000 \$3,500/ \$3,500	2018 3/5 予定	日 英 日 英		
《その他の刊行物》							
* 2014年版[企業便覧シリーズ] 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500	2014年 10/31	日 英		
* 2013年版[オフィスユーザー調査] 『インドにおける500社の複写機・LBP等の写真付ユーザー実態調査』	¥800,000	2013年 9/25	—	—			